

## 目標達成計画

事業所名：グループホームタ凧

作成日：平成 26年 7月 12日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録のまとめ方が不十分であり、出席者の記載も分かりづかった。出席できなかった委員やご家族への報告も、お便りに記載し報告していたが、もう少し具体的に伝えるべきであった。	運営推進会議は、出席者や議事内容が相手へ伝わる様な書き方へ見直す。また、今までは、お便りの中に会議内容の一部を載せていたが、今後はお便りに会議録を添えて送付し、話し合った内容をより具体的に報告して行く。	必ず出席者を記録する。内容も分かり易く見やすい記録を意識し、パソコン入力にて作成していく。完成後は、2カ月おきのお便りに添えて送付し、委員やご家族へ報告と次回のご案内をして行く。	
2	33	重度化や終末期の対応について、現状の体制ではどの程度まで対応出来るのか具体的に伝える必要がある。また、ご家族へ事前に説明の上、理解と同意を頂いておくことが大切。	今後も、現状として最善の支援を目指していきたいが、当グループホームのできる範囲の状況は、事前にご家族へ伝え、ご理解を頂いておく。	病状や介護の限界は様々であるが、入浴設備など重度化に対する限界。通院の頻度や遠方の専門医への通院に対する限界など、現状の体制を文章化し説明や同意を頂いていく。新規の方には重要事項説明書に添えて説明する。	
3	11	管理者から、各職員の状況や意見を聞く機会をもうけていなかった。	職員の個々の意見や提案として、年1回は定期的な個人面談を行い、個人の育成やグループホームの運営に反映して行きたい。	管理者は、相談や必要に合わせた面談以外にも、年1回は個別面談の機会をもうけ、それぞれに抱えている不安や意見を把握するとともに、個々に合った目標などを一緒に考え、前向きに仕事をおこなえるよう、また支援のレベルが向上するよう工夫していきたい。	
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。